

第3回下田市新庁舎等建設基本構想・基本計画審議会

2 確認事項

(1) 検討経過と作業目的(内容、スケジュール)の確認

ア 現庁舎の現状・・・本館(昭和32年建設)	延床	925	m <sup>2</sup>
西館(昭和53年建設)	延床	1,698.18	m <sup>2</sup>
別館(昭和42年建設)	延床	494.12	m <sup>2</sup>
計		3,117.3	m <sup>2</sup>

現庁舎の課題・・・旧耐震基準(耐震性無)、津波浸水区域内に立地、老朽化、狭小な造り(駐車場、庁舎内)ユニバーサルデザイン・ICT化未対応



- ・脆弱な防災拠点・・・耐震性が無く、津波浸水区域に位置していることから、災害時に防災拠点となりえない。
- ・狭小で使いにくい庁舎・・・駐車場、待合スペース、通路、トイレなど狭く、ユニバーサルデザインに対応していない。
- ・老朽化が進む執務環境・・・建設当時と比べ飛躍的に情報通信技術が進歩したが、それらの設備に対応しておらず、省エネ性能も極めて低い。

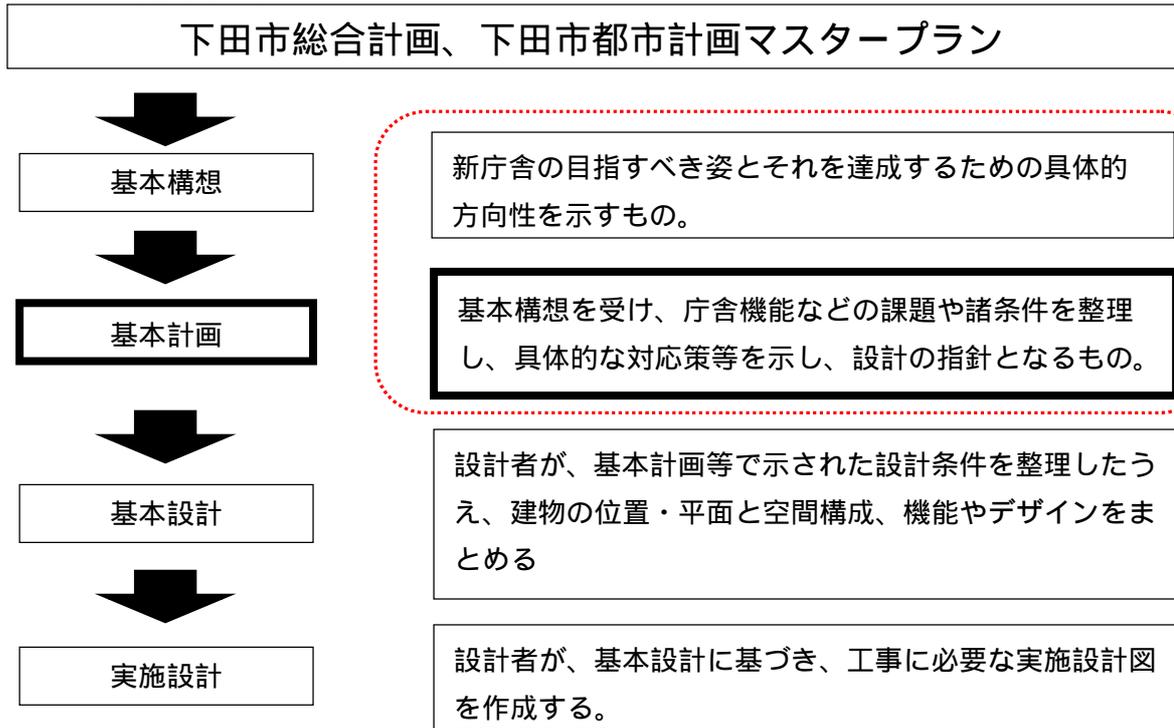
イ 建設スケジュール

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
内部検討	←→				
位置決定		◆			
基本計画		←→			
基本設計			←...→		
実施設計				←...→	
建設工事					←...→

ウ 検討経過

区分	内部検討	基本構想	基本計画	基本設計	実施設計	建設工事
現在地	→	H23.3.11 東日本大震災を受け再検討				
敷根公園前面	→	国、県の浸水想定公表を受け再検討				
敷根民有地	→	市議会 2/3 の特別多数の同意得られず否決				
稲生沢中学校隣接地	→	→		→	→	→

## エ 基本計画の位置づけ



## オ 検討スケジュール

4月・・・第1回審議会 勉強会  
現地確認、南伊豆町庁舎視察

5月・・・第2回審議会 勉強会  
熱海市、伊東市、河津町庁舎視察

6月・・・第3回審議会 勉強会  
新庁舎に求められる機能の基本方針等、  
施設規模、配置計画、動線計画の要件整理

7月・・・第4回審議会 勉強会（予定）  
基本方針等、施設規模、配置計画、  
動線計画の要件のまとめ

9月・・・下田市議会9月定例会  
市役所の位置に関する条例の改正提案（位置決定）

9月・・・第5回審議会（予定）  
下田市新庁舎建設基本計画(案) 諮問

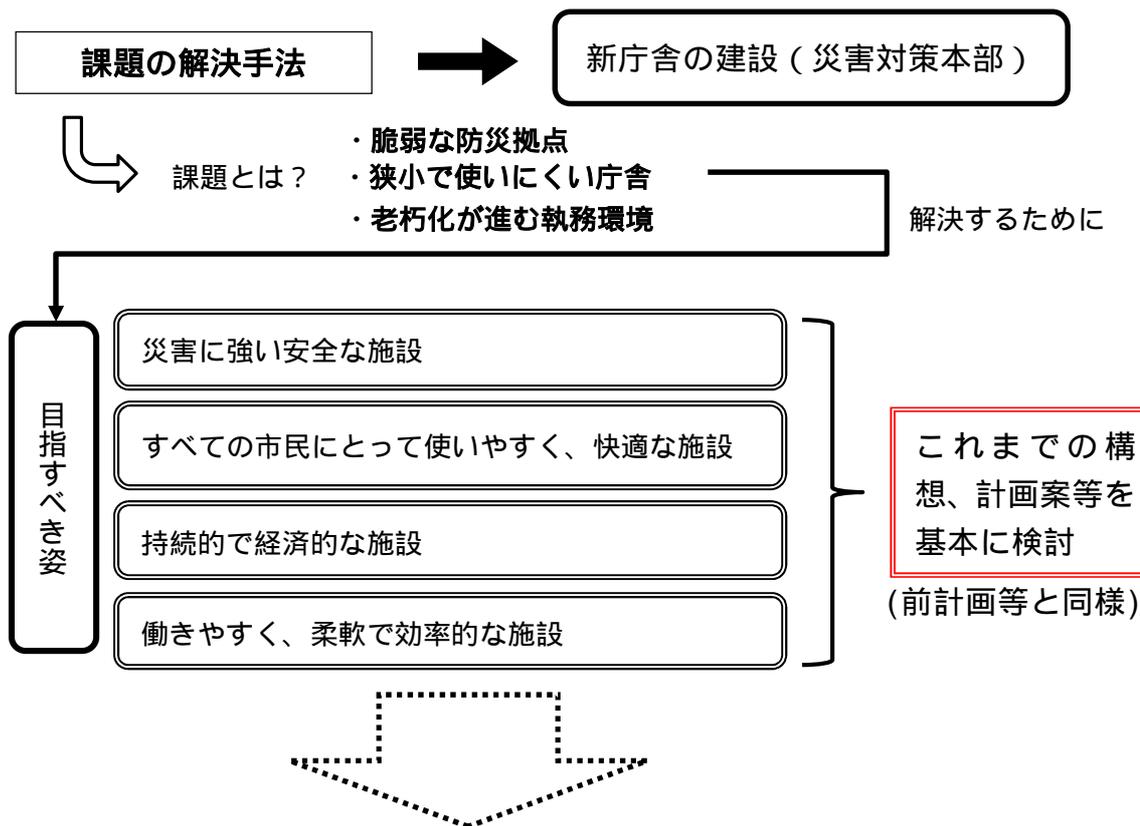
10月・・・第6回審議会（予定）  
下田市新庁舎建設基本計画(案) 答申

視察研修（勉強会）  
他市町の庁舎を視察し、  
下田市の庁舎に必要な規模や機能等についてのイメージを作る。

計画作成に参画（勉強会）  
視察結果を基に、基本方針、施設規模、配置計画、動線計画の要件を整理し、まとめる。

基本計画(案)の審議  
市長より諮問された基本計画(案)の内容について審議し、答申（回答）する。

## (2) 検討に関する基本的な考え方（これまでの計画等を基本とする）



### 課題整理、目標設定の留意点

- ・災害の危険性に対する検討
- ・人口動態（人口減少、少子高齢化等）に対する検討

真剣に向き合う

## (3) 候補地選定の条件

### ア 候補地選定の評価軸

	評価軸	具体的方針	テーマ
1	財政力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民負担の軽減</li> <li>・事業費の軽減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急防災・減災事業債の活用</li> <li>・システム建築等の検討</li> <li>・大規模造成等の不要な場所選定</li> </ul>
2	安全性 強靱性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における安全性の確保</li> <li>・非常時における復旧復興の本部機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波、土砂の危険区域外</li> <li>・職員の早期参集数の多い場所</li> <li>・防災拠点としての機能発揮、業務遂行</li> </ul>
3	まちづくり 方針等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市の骨格的な構造の一角に位置する</li> <li>・各種インフラ（上下水道、情報通信等）の整備状況と方針</li> <li>・将来の人口分布を考慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の下田市のまちづくりの発展性と方針</li> <li>・現状のインフラの整備状況</li> <li>・将来の人口分布</li> </ul>

4	アクセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平常時に市内各地からのアクセスが良いこと</li> <li>・ 非常時に広域的なアクセスが良いこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通の基幹地域 (道路、鉄道、バス等)</li> <li>・ 国道414号及び伊豆縦貫自動車道IC周辺</li> <li>・ 広域的な援助の受入れ可能地域</li> </ul>
---	------	---	---

イ 東日本大震災、熊本地震からの教訓

市役所が機能停止すると救命、応急、復旧、復興に甚大な影響が出る

下田市の主要産業

観光産業

下田市の観光資源

海

いつかは津波がくる  
(断層、プレートの存在)



『下田市の現在の構造』 + 『安全性の高いまち』 の両立

- ・ 場所の安全性  
(津波浸水区域外、土砂災害危険区域外等)
- ・ 市内要所を結ぶ日常の道路網との連携  
(現在の都市構造を生かしたアクセス)
- ・ 広域圏を結ぶ道路網との連携  
(将来の伊豆縦貫自動車道、鉄道アクセス等)
- ・ 災害時の受援力  
(支援拠点との連携、活用可能なスペース、非常時の道路網)

候補地選定の条件